

会員各位

協会だよりー265(1月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

2015年年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様並びに関係各位におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、本年、当協会は設立40周年を迎えます。

当協会は、昭和50年に、触媒生産者の団体である触媒工業協会から、「使用済触媒資源化懇談会」として16社が参加して設立されたのが始まりです。その後、平成20年に現在の「触媒資源化協会」に改称され、今日に至っています。



現在では会員数は41社となり、触媒を始めとして、電子・電機機器などの工業製品や宝飾品など様々な産業分野における貴金属、白金族、レアメタル等のリサイクルへとすそ野を広げています。また、毎年発表している会員各社の有価金属の回収実績『触媒資源化実績報告書』は、我が国唯一のものとして、国内外から関心を集めています。これも、資源の有効活用の推進を目的として、本協会の設立を後押ししていただいた経済産業省製造産業局化学課や、同省非鉄金属課ならびに同省資源エネルギー庁鉱物資源課のご指導、触媒工業協会、触媒資源化協会会員各社のご支援・ご協力によるものと、心より御礼申し上げます。

触媒資源化協会
会長 三浦 章*

さて、昨年は、いわゆるアベノミクスによる金融・財政政策の推進により、円安進行、企業業績の改善、株価の上昇など明るい兆しが見えたものの、消費増税の反動や民間設備投資の不振などにより、景気回復への足取りは重く感じられます。

本年は、消費税率再引き上げの延期に伴い景気下押し懸念が薄れるほか、日本経済のデフレ脱却に向けた成長戦略の実現にアクセルを踏むとの期待から、景気は緩やかな回復基調を辿るものとみられています。

一方、世界に目を向けると、米国は緩やかな経済成長が続くものの、中国など新興国経済の成長鈍化、イスラム情勢、ウクライナ政情不安等から、不透明・不確実な状況が続いており、また、原油価格の下落によるマネーフローの変化が世界経済に及ぼす影響を懸念する声も聞かれます。

私達企業を取り巻く環境は、まだまだ予断を許さない状況にあると言えるでしょう。

当協会の会員各社の貴金属・レアメタル等の回収量も、国内リサイクル原料の発生減や有価金属

品位の低下により、依然として頭打ちの状況が続いています。こういった時だからこそ、会員各社のたゆまぬ創意工夫により 資源の有効活用を推進し、関係当局や関係諸団体の皆様方のご支援をいただきながら、当協会も諸課題に取り組んで参りたいと思います。

次の10年に向けて、新たな気持ちで新春の一步を踏み出しましょう。

結びに、会員各社の益々の発展と、関係各位並びにご家族のご多幸、ご健勝を祈念いたしまして、年頭にあたっての言葉と致します。

※ J X 日鉱日石金属㈱ 常務執行役員 環境リサイクル事業本部長

賀状有難うございます。今年もよろしく願ひいたします(あいうえお順)。

- 株式会社アサカ理研 代表取締役会長 山田 慶太様
代表取締役社長 野納 敏展様
- 小島化学薬品株式会社 取締役本部長 蔭佐 仁様
- ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社様
- 神鋼リサーチ株式会社 代表取締役社長 黒坂 敏雄様
- ソーラメタル株式会社 代表取締役社長 村上 美佐子様
- 泰和株式会社 代表取締役社長 水谷 肇様
- 東京化学開発株式会社 代表取締役社長 福田 重雄様、取締役 鈴木 勝吾様
- 日本無機化学工業株式会社 代表取締役社長 飯田 哲男様
- 日本無機化学工業株式会社 営業部長 本間 賢一様、管理部長 佐藤 義彦様
- 松田産業株式会社 常務取締役 細田 顕治様
- ミヤマ株式会社 代表取締役 南 克明様、営業推進部長 川上 好武様
- 安田薬品株式会社 東京支店長 田原 新也様
- 横浜金属株式会社 営業部門様



芽吹き



春よ来い

トピックス：

- 第224回月例会（講演会・新年会）の開催
 日時：平成27年2月2日（月）15時00分～20時00分
 場所：如水会館
 講演：1. 吉田 栄氏（日本無機化学工業株）
 「無機顔料のシリカコーティング技術」
 2. 松久敏雄氏（クラリアント触媒株）
 「工業触媒の作り方～触媒にはどんな工夫が隠れているか～」
- 2014年度の会員・資源化実績の報告を1月30日（金）までに提出してください。



出雲大社にて

Takashi Matsuda

- 二〇一五年年頭の挨拶
- 一. 協会よりのお知らせ
 【実施済事項】
 【予定事項】
- 二. 事務局より（一年度の予定）
 三. 南米西部旅行記（2）（鶴岡武さん寄稿）
 四. 【雑字】芭蕉・笈の小文（伊良湖から伊勢神宮まで）2—1

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー264（12月号）をメール&郵便で送信（12／1）
- ② 2014年（1月～12月）の会員各社資源化実績報告依頼の発送（12／9）
- ③ 経済産業省・化学課訪問、会長と専務理事（12／10）

【予定事項】

- ① 第31回JSCRA会（協会ゴルフコンペ）のご案内（1／6予定）
 開催日：平成27年3月24日（火曜日）
 コース：東京国際ゴルフ倶楽部（東京都町田市下小山田町1668）
 備考：4組予約済み
 幹事：小島化学薬品株、協会事務局
- ② 第五回運営委員会の開催
 日時：平成27年1月15日（木）16：00～17：00
 場所：堺化学工業株東京支店会議室
 出席：運営委員、第224回月例会幹事、専務理事
- ③ 2014年度資源化実績の報告提出の期限
 2月中旬には調査・技術委員会を開催し討議、編集業務に入りますので1月30日（金）までの報告にご協力をお願い申し上げます。

④ 第224回月例会（講演会・新年会）

日 時：平成27年2月2日（月曜日）15：00～20：00

会 場：如水会館（千代田区一ツ橋2－1－1）

講 演：1. 吉田 栄氏（日本無機化学工業(株)常務取締役）

2. 松久敏雄氏（クラリアント触媒(株)取締役）

新年会：講演会終了後、17：30より別室にて立食の新年会を開催いたします。

2. 事務局より（1月度の予定）

月	火	水	木	金	土
12/29	12/30	12/31	1	2	3
×	×	×	正月	×	×
5	6	7	8	9	10
○	○	×	×	○	×
12	13	14	15	16	17
成人の日	○	×	第五回運営委	×	×
19	20	21	22	23	24
×	○	×	×	○	×
26	27	28	29	30	31
○	△	×	×	○	×

1月度の出勤予定：9日間＋半日1日、赤・個人予定あり。

3. 南米西部旅行記（2）（鶴岡武さん寄稿）

ペルーの次はボリビア首都ラパス訪問だ。標高4200米のラパス空港に伊藤忠(株)ラパス支店の西さんが出迎えに来てくれた。日本でボリビア訪問の為数種の予防接種をし、証明書を持参したが、入国時に何も見ず拍子抜けするほどの、簡単な入国審査であった。



ラパスは周辺を五千米級の山々に囲まれた高地で、市はすり鉢状盆地の底になり、緑の無い禿山のみで、山高帽に落下傘式スカートのインディオがおり、異様な感じを受ける。見かけによらず麻薬成金で、沢山の米ドルを所持しているらしい。当地には西さん兄弟が常駐している。話によると父親が昭和二年にボリビアに来て、長年ラパスに逗留し、引き続いて子供達が仕事をやっているのので約六十年間西家はラパスに住まわれており、大統領、大臣クラスの高官も友人になっている。父君は高齢で、郷里長崎で元気に暮らしているらしい。高地の為酸素が極端に少ない。富士山の頂上より高

所で、お湯は八十度で沸騰してしまう。西さんの指示に従い、息切れ防止策として風呂に入らず、酒も飲まず、ゆっくり歩き、夜は枕元に酸素ボンベを置き、苦しくなると酸素呼吸をしたが、初日の晩は酸素がなかった為息苦しく、頭痛も加わり一睡もできなかった。斜めに寝ると苦しいので、常に上を向いていなければならず、朝まで動悸がひどく閉口した。コカインの原料になるコカ茶



を飲むと、頭痛が麻痺して高山病に効く。コカ茶パックが販売されていたが、日本、米国は持ち込み禁止である。西さんに高山病用の錠剤をもらったが、余り効かなかった。しかし本格的な登山家はラパスを訪れると、身振りをして喜ぶとの事。一般人でも二～三日で低気圧に慣れるらしい。唯、注意を要するのは、チューブ入り化粧品で芳香剤の入っているものは、沸点の低い薬剤を含み、瞬時に膨張して、トランク内で破れてしまい、ひどい目に合う。

さて、例によって二～三面白い話を紹介する。先ず麻薬であるが、コカイン原料のコカの木は、沢山栽培され八億ドルを密輸で稼いでいる。主にインデオがマフィアの下請けをしているらしい。ラパスの或る軍人の高官は、大量の麻薬を米国に持ち込み、その代金で日本車を輸入し国内に売っている。政府とグルであり、商売敵のマフィアに狙われると自発的に刑務所に入り身を守る。又兵隊に金を支払い、刑務所周囲を二重に警護させている。輸入車には勿論関税など支払っておらず、西さん等は正規のルートで輸入している為、市場で勝てず得意先をしばしば取られている。

ボリビアも日本人移民は古く、九十周年を迎えている。又ペルー経由の邦人もおり、日本人学校もある。八十人の生徒がいるも、先生がおらず親達が交代で教えている。とにかく学校の先生の給与が、月給八十米ドルでは話にならない。

現地で日本人青年海外協力隊員（ジャイカ）二人を食事に誘ってほしいと西さんに依頼され、昼食を共にした折現地の話を種々聞く機会を得た。何でも山奥に入り、未開の土地に関する地図作成用の測量をしているが、時折インデオ達が、増税の為土地測量をしていると勘違いされ、殺されそうになるそうだ。彼らはスペイン語を解せず、ケチュア語であり、同伴した役人が彼らとの会話ができないと大問題になる。

一般にインデオは、長年スペイン人に虐げられてきている為、従順でおとなしいが、酒を飲むと狂暴になる。日本人にも似たような酒飲みを見かけるが、インデオの血が混じっているのでは？

ところで、現在ボリビア政府は、社会党と自由党が連立内閣を作り、大変うまくいっている。日本もその辺のKNOW-HOWを学んだらどうだろう。ボリビアは鉱物資源に富んだ国であり、ポトス銀山で銀ラッシュを生んでいる。しかしペルー、チリー、ブラジルとの戦争に負け、領土を敵国に譲渡した結果、海岸を持たない小さな国になってしまった歴史を持っている。自由貿易国で、関税は全ての品に二十%均一で、インフレの止まっている南米の唯一の国である。老婆心ながら高血圧の人は要注意である。ペルーと同じく25年昔の話であることをお忘れなく。

執筆：アジア物性材料㈱会長 鶴岡 武

笈の小文で去る4月に伊賀の柘植（三重県）から初瀬の長谷寺、桜が満開の吉野山（奈良県）を訪ねて半年が過ぎました。11月25日、やっと渥美半島（愛知県）から鳥羽・伊勢を訪れる機会がやってきました。今回の参加者はなんと8名で大高先生、青山さんを含めても10名と言う、あまりにも少ない参加者で「トラベル日本」の苦労がしのばれます。

初めに、まず今回の旅のルートを紹介しますと「東京（ 豊橋（ 渥美半島・伊良湖崎（伊良湖ビューホテル）（泊）⇒（フェリーボート 鳥羽（ 二見が浦・伊勢神宮（ 山の湯温泉（寿亭）（泊）⇒（飛入りで御在所岳ロープウェイ往復）（ 桑名・本統寺（ 愛西市・水鶏塚（ 名古屋（ 東京」までの2泊3日の行程です。

私たちの豊橋からの壱日目の訪問先は下図を参照ください。



6/10

《湊神明社》豊橋市湊町

貞享4年（1687）、米の空売りで咎を受け、家財一切を没収され、所払いとなり渥美半島の保美に隠遁している愛弟子の杜国を慰めるため、鳴海より越人を同行し100kmの道のりを戻って吉田に泊り、渥美半島・畠村、保美を訪問しています。



旅寝塚

越人と吉田の驛にて

寒けれど二人旅寝ぞたのもしき 芭蕉



男同士の旅ですが、二人で寝ると寂しくないね！と多少意味深な句と思われます。
次いで、豊川に架かる橋を横断して、川沿いの松葉塚のある聖眼寺へ向かいます。

《聖眼寺》豊橋市下地町3

松葉塚の句は芭蕉さんと越人が二人で杜国を訪ねる途中、この聖眼寺に泊まった時に詠んだ句とされています。聖眼寺には「親鸞聖人御奮跡」の石碑が門前に建立されています。



松葉を焚いて手拭あぶる寒さ哉 貞享4年（笈日記）

この句碑は松葉塚と呼ばれています。朝起きて顔を洗った手拭を松葉で焚いた焚火で干したが寒い朝であった。杜国に会うまで待ち遠しい、早く会いたい。という意味でしょうか？

「松葉=ご」と言うそうな。

これにて、午前の勉強は終了して、昼食場所「道の駅・田原めつくんはうす」（愛知県田原市東赤石5丁目ー74）に向かいます。豊橋市に隣接する田原市（渥美半島全地域を包括）は、渥美郡の旧田原町、野田村、神戸村、杉山村の一部の1町3村が合併し、1955年に発足した田原町が、1958年に町制を施行した赤羽根町を、2003年8月20日に編入合併して市になりました。さらに2005年10月1日には、渥美町を編入して豊橋市に隣接し半島の付け根より伊良湖岬まで半島全域の市となっています。



めつくんはうす2階の「もく」にてお昼の幕の内弁当をいただく。
めつくんはうすとは花の芽、野菜の芽、村おこしの芽、産業の芽、文化の芽など、いろいろな芽が発展し成長する“いえ”として名付けられました。

《潮音寺》田原市福江町原の島

本日のメインイベント、杜国のお墓と師弟（芭蕉・越人・杜国）の三吟句碑がある潮音寺に到着です。隣江山潮音寺といい曹洞宗の寺院となっています。寺の名前の通りに潮の音が聞こえるほど海岸が近かったのでしょうか？

下の写真が潮音寺境内にある、再会した師弟がそのとき詠みあった三吟句碑です。



- 麦生えて能隠れ家や畑村 芭蕉
- 冬をさかりに椿咲く也 越人
- 昼の空蚤かむ犬の寝かえりて 野仁（杜国）
（笈日記）

翌日、杜国の案内で三人は、伊良湖崎に吟行の杖を運びました。そのとき詠んだ「鷹ひとつ見つけてうれし伊良湖崎」が笈の小文にあります。西行さんの山家集（佐佐木信綱校訂・岩波文庫）に「すたか渡るいらごが崎をうたがいてなほきにかくる山帰りかな」があり、西行さんを追っかける芭蕉さんが見え隠れしています。

また時代はずーと後ですが、太平洋戦争で息子を失った失意の柳原白蓮が戦後、旅の途中で潮音寺を訪れています。今回私たちは社務所の二階に公開展示されている白蓮特別展・白蓮の色紙、短歌等を見学しました。白蓮はNHKの朝ドラ「花子とアン」で花子の親友・蓮子として登場しましたが、飾ってあった実物の写真（新聞類のコピー）は細面でなかなかの美人でありました。大正天皇とは縁戚にあたり、その外見に似ず激情の人生を送った女性でありました。境内には白蓮の歌碑が建立されています。

《杜国公園》杜国屋敷跡 田原市保美町仲新古

周りは田んぼですが、隠棲した屋敷跡の一角が杜国公園となっています。



旧里を立去りて
伊良古に住残りしころ
春ながら名古屋にも似ぬ空の色 杜国

名古屋と保美の違い、天候気候と言うより、名古屋と言う文化の中心から離れている心の曇り空でしょうか？

《芭蕉の句碑公園》田原市保美

259 号線にある句碑公園の反対側はリゾートゴルフ場、伊良湖シーサイドゴルフ倶楽部が立地していますが、今はシーズンオフの模様で駐車場も閑散としています。



鷹ひとつ見つけてうれしいらこ崎 (笈の小文)



三日間、安全運転に努め、無事、名古屋駅まで乗せていただいた愛岐観光さんに感謝です！

